

TECHNOLOGY FARM TIMES

VOL.2

サングリン太陽園のグループ会社・

北日本スカイテックの新施設「TECHNOLOGY FARM 西の里」は本年6月の竣工後、夏の防除シーズンから産業用無人航空機の整備拠点として稼働しています。無人機の利活用サポートはもとより、新技術開発への取り組みも加速していきます。



基本情報

名称 **TECHNOLOGY FARM 西の里**
(テクノロジーファーム西の里)
住所 北広島市西の里308-1
施設面積 3,175㎡(1F:1,837㎡、2F:1,338㎡)
圃場面積 約2.86ha
フライト場面積 約1.5ha

●車の場合
札幌南ICから約10分
※新千歳空港から札幌南ICまで約30分

●公共交通機関の場合
札幌市営地下鉄東西線
大谷地駅からバスで約20分
※新千歳空港から大谷地駅までバスで約40分

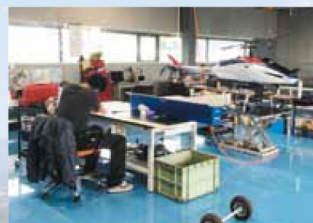


高品質な機体整備体制

産業用無人航空機(ヘリコプター・マルチローター)を農業分野で利用するためには、農林水産航空協会認定の整備事業所での定期点検が必要です。TECHNOLOGY FARM 西の里には、機体の開発を手掛けるヤマハ発動機が認定する整備資格の最高峰「ダイヤモンドクラス」の保有者をはじめとする認定整備士が在籍。最良の状態で機体をご使用いただけるよう、高品質な点検・整備を行っています。

●整備場

農林水産航空協会認定の認定整備事業所です。最大8機の同時整備が可能。来年発売予定の国産マルチローター「YMR-08」の整備も行えます。



●格納庫

無人航空機を保管する格納庫です。整備場に隣接し、約100機の無人航空機を保管できます。



●フライト場

社屋外に約1.5haのテストフライト場を有します。



●緑化事業

サングリングループは「豊かな人間環境づくりへの貢献」を企業理念として掲げております。TECHNOLOGY FARM 西の里においては、環境保全を目的に緑化事業を計画。ステークホルダーの皆さまよりご協賛いただき、約250本の樹木を敷地内に植樹しました。樹木は、環境保全だけでなく、将来的に防風林としての役割も期待されます。



●土壌分析室

作物の品質と収量向上のためには適正な施肥が必要です。TECHNOLOGY FARM 西の里には施肥設計において欠かせない土壌分析を行う分析室を設置。生産者の土に関するご相談にお応えします。



フライト場

格納庫

整備場

●試験圃場 畑

広大な敷地を活かし、社員自らも作物を栽培して圃場の管理を行う「学びの場」です。実際に作物を育てることで、栽培のノウハウを培うことを目指しています。品種試験や農薬・肥料などの農業資材の比較試験をしており、メーカーや有識者と協力しながら日々技術の研さんに励んでいます。



●試験圃場 水田

2018年8月に水田の整備が完了。水田では将来的に水稻の試験栽培を目指します。水稻栽培での除草剤散布に利用される産業用無人ボートの試走も可能です。無人航空機(ヘリコプター・マルチローター)のみならず、無人ボートも万全の整備体制を整えています。

